

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第103号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年3月4日 11時50分ごろ	
発生場所	静岡県東伊豆町稲取岬灯台から真方位225° 4.0海里付近 (概位 北緯34° 43.2′ 東経138° 59.4′)	
事故等調査の経過	平成21年4月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船兼砂利運搬船 福興丸、496トン	
船舶番号、船舶所有者等	136392、御前崎海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	プロペラ翼欠損及び曲損、船底外板擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、静岡県河津町下河津漁港の採石業者の積み出し栈橋で、ほぼ満載の約1,480トン積載し、船首約3.60m、船尾約5.10mの喫水で、東京都大田区羽田沖に向けて出航したところ、平成21年3月4日11時50分ごろ、船底に衝撃を受けた。 本船は、その後自力で航行を続けた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 2、視界 良好（稲取） 海象：潮汐 下げ潮の中央期	
その他の事項	栈橋の設置されていた水域は、河津町が管理する下河津漁港の港域内ではあるが、航路、泊地でないため水深の記録がない。 採石業者が、平成20年3月に浚渫工事のために水域占有許可申請を、栈橋設置のために海岸占有許可申請を行っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、水深及び海底状況の確認がなされていない水域を出航中、水路情報の確認ができなかったため、海底に捨石等があつて、それらに乗り揚げた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が下河津漁港の水深及び海底状況の確認がなされていない水域を出航する際、水路情報の確認ができなかったため、捨石等に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	